様式第五号(第十二条関係)

収入印紙 (消印しないこと。)

言語聴覚士国家試験受験願書

ふりがな 氏　　名				性別	男 女	受験番号	※
生年月日	明治 大正 昭和 平成 令和	年　月　日	本籍 (国籍)	都道 府県		受験 希望地	
現住所	都道府県　　市郡区						
	(郵便番号　　―　　)　　電話番号　　(　　)						
養成施設名							
最終学歴	学部(学科)　　年卒業(見込)						

受験資格 (該当項目に○印をつけること。)	資格該当項目			添付書類
	養成施設卒業者 (一般・短期)	法第33条第1号		・養成施設修業(卒業)証明書
		法第33条第2号		
		法第33条第3号		
		法第33条第5号		
		法附則第2条		・養成施設修業(卒業)証明書 ・平成10年9月1日現在、養成施設において修業中であったことを証する書類
	指定科目履修者	法第33条第4号		・大学等卒業証明書 ・指定科目履修証明書
	外国養成施設卒業者	法第33条第6号		・厚生労働大臣による受験資格の認定を証する書類
	実務経験者	法附則第3条		・履歴書 ・指定講習会修了証明書 ・実務経験等を証する書類
連絡先	電話番号　　(　　)　　(内線　　)			

上記により、言語聴覚士国家試験を受験したいので申し込みます。

令和　　年　　月　　日

厚生労働大臣
指定試験機関代表者　　殿

氏　　名

備考　1　※印欄には、記入しないこと。

2　該当する不動文字を○で囲むこと。

3　黒ボールペンを用い、かい書ではっきりと記入すること。

4　指定試験機関に申し込む場合には、所定の手続により受験手数料を納付し、収入印紙は貼らないこと。

5　修業(卒業)証明書・指定科目履修証明書・実務経験等を証する書類については、それぞれ学校・養成施設・勤務先の長(所属長等)の発行に係るものであること。

6　法附則第2条に該当する者のうち、平成10年9月1日現在、現に養成施設の課程を終えている者にあっては、受験資格を証する添付書類は、養成施設修業(卒業)証明書のみでよいこと。

7　用紙の大きさは、A4 とすること。